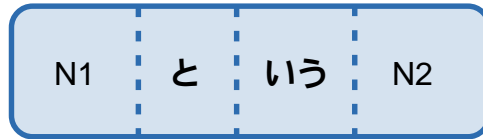


(1)



N1 : N2の具体的な名称  
ぐたいてき めいしょう

N2 : N1の類(人、場所、物、ことなどがらなど)  
るい ひと ばしょ もの

(2)



N2 : N1(人、場所、物、ことなどがらなど)の具体的な名称  
ひと ばしょ もの ぐたいてき めいしょう

## 基本

### 例文

- ① 「ようかん」というお菓子をはじめて食べてみました。とても甘かったです。  
かし た あま
- ② A : すぐ近くに清水寺というお寺がありますよ。  
ちが きよみずでら てら  
 B : じゃ、昼ごはんを食べてから、そこへ行きましょう。  
ひる た い
- ③ A : これは、何ですか。  
なん  
 B : びわという楽器です。日本に昔からある楽器です。  
がっき にほん むかし がっき
- ④ A : 映画でこれを見たことがあります。  
えいが み  
 B : そうですね。これは明治時代に使っていた人力車という乗り物です。  
めいじ じだい つか じんりきしゃ の もの
- ⑤ わたしが生まれたところは、「新宮」という町です。  
う しんぐう まち
- ⑥ 昔、あるお寺に「一休さん」というお坊さんがいました。  
むかし てら いっきゅう ぼう

### 解説

- A. 構造図(1)で、N2の名前、呼び名を示すときに使う。(例文①～⑥)  
こうぞうず なまえ よ な しめ つか
- B. 構造図(1)で、N1が何であるのかをN2で示して、聞き手にわかりやすく述べるときに使う。  
こうぞうず なん しめ き て の つか  
 (例文①～⑥)
- C. 書かれた文では、N1を際立たせるために、「か ぶん きわ だ」で囲むことがある。(例文①⑤⑥)  
かこ

例 文

- ⑦ わたしは、田中<sup>た なか</sup>といいます。どうぞ、よろしく<sup>ねが</sup>お願いします。
- ⑧ このお寺<sup>てら</sup>は、清水寺<sup>きよみずでら</sup>といいます。
- ⑨ 山本<sup>やまもと</sup>さんの名前<sup>なまえ</sup>は、あきら<sup>あきら</sup>といいます。
- ⑩ A：日本<sup>にほん</sup>式<sup>しき</sup>のホテル<sup>ほてる</sup>を日本<sup>にほん</sup>語<sup>ご</sup>で何<sup>なん</sup>といいますか。  
 B：旅館<sup>りょかん</sup><sup>りょかん</sup>といいます。
- ⑪ 日本<sup>にほん</sup>の雨<sup>う</sup>季<sup>き</sup>は「梅雨<sup>つゆ</sup>」<sup>が</sup>と<sup>が</sup>い<sup>が</sup>って、6月<sup>がつ</sup>中<sup>ちゆう</sup>旬<sup>じゆん</sup>から7月<sup>がつ</sup>中<sup>ちゆう</sup>旬<sup>じゆん</sup>ごろです。

解 説

- D. 構造<sup>こうぞう</sup>図<sup>ず</sup>(2)で、N1の名前<sup>なまえ</sup>、呼び名<sup>よ び</sup>を<sup>な</sup>紹<sup>しょう</sup>介<sup>かい</sup>する<sup>し</sup>と<sup>つ</sup>き<sup>か</sup>に<sup>か</sup>使<sup>つか</sup>う。(例文⑦～⑩)
- E. 書<sup>か</sup>か<sup>か</sup>れた<sup>か</sup>文<sup>ぶん</sup>では、N2を<sup>き</sup>際<sup>さい</sup>立<sup>た</sup>た<sup>た</sup>せ<sup>せ</sup>る<sup>る</sup>た<sup>た</sup>め<sup>め</sup>に、「<sup>か</sup>」<sup>か</sup>で<sup>か</sup>囲<sup>かこ</sup>む<sup>む</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>が<sup>が</sup>あ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>。(例文⑪)

先生へ

- A. の用法<sup>ようほう</sup>は、話<sup>はな</sup>し<sup>し</sup>手<sup>て</sup>が<sup>が</sup>聞<sup>き</sup>き<sup>て</sup>手<sup>て</sup>が、N1についてよく<sup>し</sup>知<sup>し</sup>ら<sup>ら</sup>な<sup>な</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>き<sup>き</sup>に<sup>に</sup>使<sup>つか</sup>わ<sup>わ</sup>れる<sup>る</sup>。
- 話<sup>はな</sup>し<sup>し</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>ば<sup>ば</sup>では、「と」は「<sup>て</sup>」<sup>て</sup>と<sup>と</sup>な<sup>な</sup>る<sup>る</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>が<sup>が</sup>あ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>。
- 例 <sup>ちか</sup>すぐ<sup>きよみずでら</sup>近<sup>ちか</sup>く<sup>てら</sup>に「清水寺」<sup>てら</sup>と<sup>と</sup>い<sup>い</sup>う<sup>う</sup>お<sup>お</sup>寺<sup>てら</sup>が<sup>が</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>す<sup>す</sup>よ。

<p>【関連項目】</p> <p>助-30 と(引用)</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>16-3 日本の歴史</p> <p>16-5 すずめのお宿</p> <p>16-6 ぜひ、わたしの町に来てください</p> <p>16-7 歌舞伎</p>
---------------------------------	---